

令和2年度における「やまの健康」の取組について

1 令和2年度「やまの健康」モデル地域(※)の選定について

(1) 「やまの健康」モデル地域公募概要

公募数：3地域

公募期間：(地域→市町) 令和2年4月14日(火)～令和2年7月17日(金)
(市町→県) ～令和2年7月31日(金)

選定審査会：令和2年8月18日(火)

(2) 「やまの健康」モデル地域応募状況

応募数：4地域(栗東市金勝地域、甲賀市大原地域、高島市南深清水地域、
多賀町八重練地域)

(3) 「やまの健康」モデル地域審査結果

選定地域：栗東市^{こんぜ}金勝地域、甲賀市^{おおはら}大原地域、高島市^{みなみふかしみず}南深清水地域

(4) モデル地域の今後の取組について

(新規地域) 県事業により地域の将来像を議論するプラットフォームを設立
「やまの健康」宣言策定支援

(継続・新規地域) 活動交付金の交付等によりモデル地域の取組を支援

※モデル地域：「やまの健康」の取組を実践する地域

【新規】令和2年度選定モデル地域の概要 初年度

【栗東市金勝地域】

人口：6,709人 高齢化率：21.3%(令和元年度栗東市統計書)

活動内容：森林資源(空間含む)を活用した各種体験コンテンツの集積による農山村活性化
(フォレストアドベンチャー、マウンテンバイクトレイルツアー、森林セラピーなど)

【甲賀市大原地域】

人口：4,889人 高齢化率：29.8%(申請書抜粋2015年)

活動内容：森林整備を通じた山の元気と人の元気の実現
(森林境界明確化、森林体験学習、地域通貨を活用した木材流通促進(木の駅)など)

【高島市南深清水地域】

人口：158人 高齢化率：42.4%(申請書抜粋)

活動内容：地域資源を活かした「食」と「運動・観光」によるウェルネスツーリズムの実現
(柿やオリーブの商品開発、高島トレイル、東洋医学を取り入れた交流イベントなど)

【継続】令和元年度選定モデル地域の状況 2年目

【大津市葛川地域】

人口：237人 高齢化率：54.0%(令和元年7月1日現在)

活動内容：特産品としてリンドウ栽培と販売、カーシェアリング、里山保全(重要インフラ保全)、空き家対策(地域住民による改修)

【米原市伊吹北部地域】

人 口： 712人 高齢化率：46.5%（令和元年7月1日現在）

活動内容：ドローンビジネス（技術勉強会、実践プログラム開発、ドローンピッキング（ドローン+キャンブ）施設）
地元木材による炭生産・販売、地元食材販路開拓、古民家農泊、染料および茅葺屋根材料としてイブキカリヤスの生産・販売、薬草ビール開発

2 令和2年度「やまの健康」の取組について

(1) 農山村の魅力を高める取組について

1 (4) モデル地域の今後の取組について（再掲）

○ 地域から活動の担い手確保に関する課題についての声があがっている。

➡ 都市との関わりにおいて関係人口を増やしていくことなどを軸に、今後の施策について検討

(2) 都市を含めた県民をやまに導く取組について

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえながら、「やまの健康」事業を一段高め、県民全体のアクション、ムーブメントへとつなげていくため今年度、以下を実施

(啓発)

○ 前年度策定したアクションガイドを足掛かりに、都市も含めた県民の皆さんがやまに関心を持ち、やまへ導くための県民ムーブメントを創出する。

○ 県民ムーブメントの機運醸成のため、まずはアクティブで情報発信力がある若い世代にやまに関心を高めてもらえるよう、プロバスケットボールチーム滋賀レイクスターズとコラボレーションした啓発動画を3本作成し、7月より順次公開

○ 県民ムーブメントの具体的な取組として、上記動画企画を通じて県産材を用いたニュースポーツを考案、県民ムーブメントに繋げるべく、現在、制作・販売等におけるパートナー企業を公募（令和2年7月21日～10月30日）

(木育)

○ 木育を通じて、県民がやまの価値や魅力を見直す事業として「まちの森林（もり）づくりプロジェクト」を新設

○ 7月22日～7月28日の7日間、近鉄百貨店草津店において、「やまの健康」の取組紹介に加え、木に触れる体験や、木の匠による木製品の実演販売を実施し、子どもから大人までの幅広い世代を対象に「木育」の推進を実施

➡ 農山村と都市の両面での事業展開により、県全体でやまとの関わりや経済循環を創出することで、「やまの健康」の実現に努める。

(新しい生活様式の構築に向けたやまの活用)

○ 田舎に住む、農山村に住みたいという機運が高まっていることや、新型コロナウイルス感染拡大を契機に、例えば、県でも実施した在宅やサテライトオフィスにおける勤務、いわゆるテレワークの導入など企業の働き方も大きく変わるものと考える。

➡ これら社会ニーズの変動を捉え、やまの暮らし、県産材の利用促進を図るきっかけにするなど、ピンチをチャンスに変える発想で新しい施策を検討していく。

滋賀県における中山間地域

「やまの健康」推進事業モデル地域

対象地域

令和元年度

1 大津市葛川地区
 (坂下、木戸口、中村、坊村、町居、梅ノ木、貫井、細川)
 計8集落
 人口：237人
 高齢化率：54.0%
 活動内容の例
 ・リンドウ栽培
 ・家族留学(移住促進)
 ・コミュニティーシェアリング

令和2年度

5 高島市南深清水地区
 人口：158人
 高齢化率：42.4%
 活動内容の例
 ・柿、オリーブ 商品企画開発
 ・地域独自の健康食
 ・森林セラピー
 ・トレイルラン
 ・空き家活用 農業体験

令和元年度

2 米原市伊吹北部地区
 (甲津原、曲谷、甲賀、吉槻、上板並、下板並、大久保、小泉) 計8集落
 人口：712人
 高齢化率：46.5%
 活動内容の例
 ・山椒・みょうがの栽培・加工
 ・森林整備活動、木材利用、炭づくり
 ・ドローン活用
 ・薬草ブランド・薬草ビール商品化、イフキリヤス等染料

令和2年度

3 栗東市金勝地区
 人口：6,709人
 高齢化率：21.3%
 活動内容の例
 ・マウンテンバイク トレイルツアー
 ・クアオルトウォーキング
 ・ノルデックウォーキング
 ・森林セラピー
 ・そとヨガ
 ・ホーストレッキング

令和2年度

4 甲賀市大原地区
 人口：4,889人(2015年)
 高齢化率：29.8%(2015年)
 活動内容の例
 ・山林の境界明確化、獣・災害対策
 ・里山、教育(体験学習)、遊び場
 ・木の駅プロジェクト
 ・福祉作業所連携、地域通貨

(参考) 滋賀県高齢化率 26.0%
 令和2年(2020年)7月1日現在